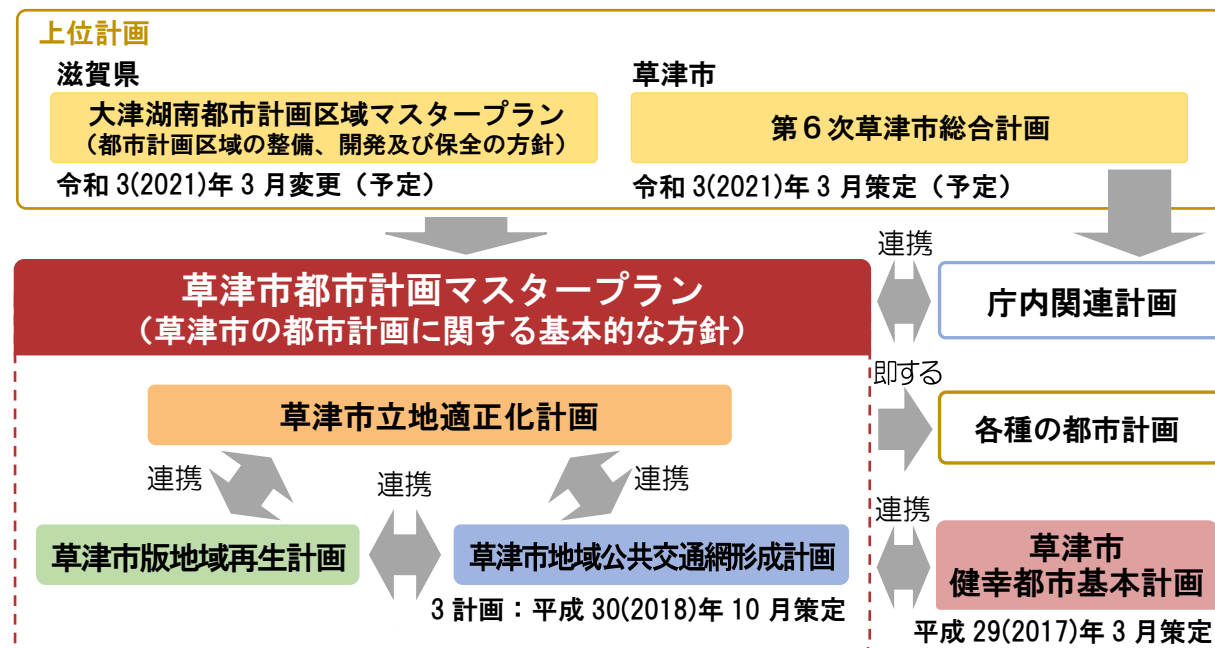


計画策定の背景と目的

- ◇平成 18(2006)年 3 月に策定(平成 22(2010)年 6 月に一部変更)した草津市都市計画マスタープランでは、「ゆとりと活力のある生活実感都市 草津」を基本テーマに、豊かな生活を実感できる都市基盤整備や草津らしい都市づくりを推進してきた。
- ◇この間、地方都市での急速な人口減少や高齢化を背景として、国では、人口減少局面においても持続可能な都市を構築するために、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」のまちづくりを推進している。
- ◇本市においては、これまでの企業の進出や大学の開学等を背景に、現時点では人口増加が続いているが、将来の見込みでは、全国的な傾向と同様に人口減少局面を迎えること、また、地域によってはすでに人口減少や高齢化が進んでいることから、本市の都市構造や各地域における都市づくりの課題を踏まえ、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」のまちづくりを理念とする取組を進めている。
- ◇今回、この理念を反映させ、さらには、第 6 次草津市総合計画等の上位・関連計画と整合を図りながら、将来の都市構造や各地域の都市づくりの方針等を定めた新たな都市計画マスタープランを策定する。

計画の位置付け



策定にあたっての視点

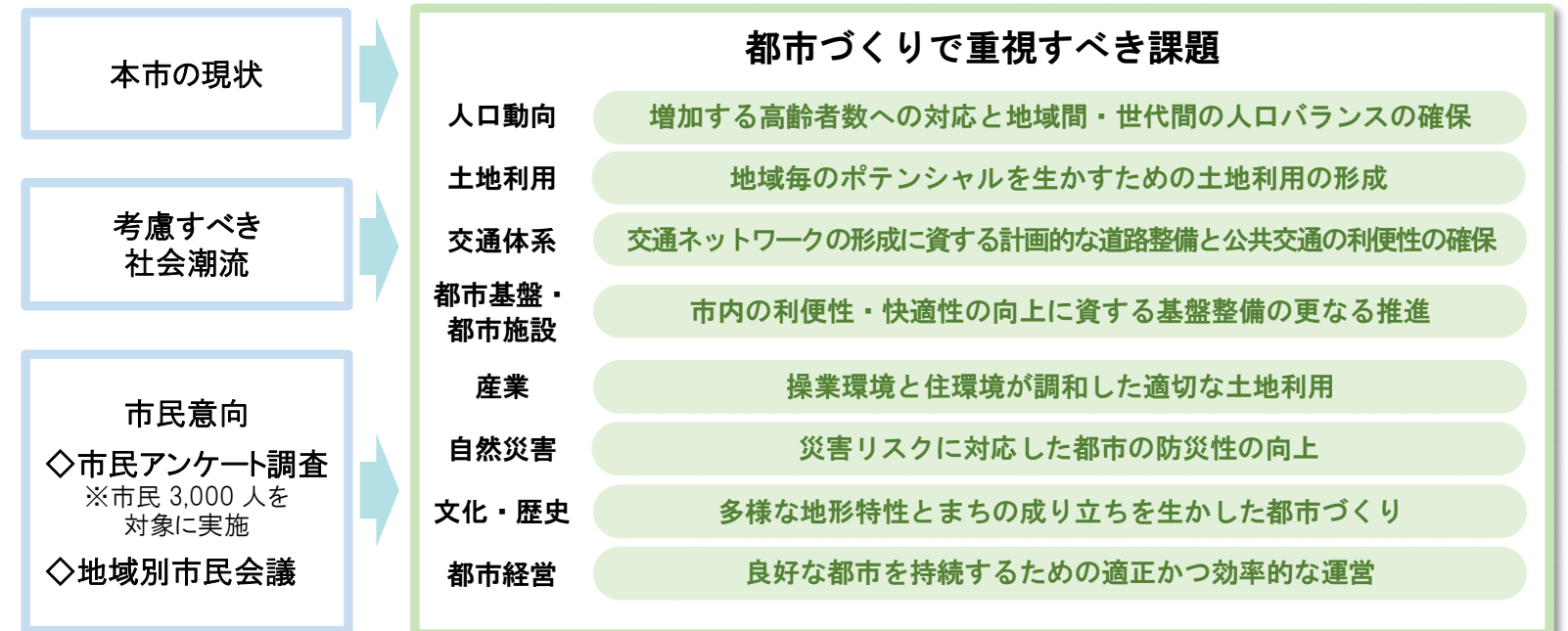
- 本市の現状を的確に捉えた方針の策定
- 「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の理念を反映した全体構想の策定
- 市民意見を反映した地域別構想の策定

計画の目標年次

本計画の目標年次：令和 22(2040)年

「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」のまちづくりを目指す草津市立地適正化計画や草津市版地域再生計画との整合を図り、目標年次を設定

本市の現状と課題



都市づくりの理念・目標

〈 都市づくりの理念 〉

市民とともに育み 次世代へつなぐ
利便性と豊かさのある健幸な都市 草津

◇将来にわたる人口減少局面を見据え、市民や本市を訪れる人々の利便性が確保され、安全・安心で、居心地がよく、豊かさのある「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の都市構造を構築しています。

◇健康的で生きがいのある都市生活の中で、誰もが自分らしい多様なライフスタイルを送ることを通じて、健やかさと幸せを感じられる都市となります。

◇次世代を担う子ども達や市外から新たに迎え入れる市民が、長い歴史の中で培ってきた「草津」に愛着と誇りを持てるよう、これまでに地域を支えてきた市民とともに育み、次世代へつなぎます。

〈 都市づくりの目標 〉

目標 1 都市の活力があふれる
都市づくり

目標 2 住みたいと思える
住環境がある都市づくり

目標 3 多彩な交流と滞在が生まれる
空間がある都市づくり

目標 4 安全・安心を実感して
暮らせる都市づくり

目標 5 地域が主役となる
都市づくり

